



# さとのかぜ

NO.161

千葉県いすみ環境と文化のさとセンター

10月号 2008年10月1日発行

編集・発行 千葉県いすみ環境と文化のさとセンター

〒298-0111 千葉県いすみ市万木 2050 番地

TEL 0470-86-5251 FAX 0470-86-5252

URL <http://www.isumi-sato.com/>

## 恵比寿講で家運隆盛・金運UPを



旧夷隅町引田の関通明家の台所に祀られている恵比寿神(左)と大黒神。

10月の別名は“神無月(かんなづき)”。出雲大社に全国の神様が集まり、出雲以外に神様がなくなる月の意で、出雲では“神在月(かみありづき)”と言うそうです。さて、この神無月の留守を預かるのが、七福神の一柱、恵比寿神です。右手に釣り竿、左手に鯛を抱えた福々しい姿で表わされる恵比寿神は、古くから漁村で

は豊漁をもたらす神、農村では田の神として篤く信仰されていました。また竈の神様として大黒神と一対で各家の台所にまつられ、恵比寿講に尾頭付きの魚と一升枡にお金を入れて金運を願う風習がありました。旧夷隅町深谷・万木地区では、11月20日に尾頭付きの魚と共に生きたフナ、のっぺい汁、そしてお金を入れた一升枡をお供えしたとか。

恵比寿講は新春と秋の2回。新春には稼ぎに出かける恵比寿神を、秋には稼ぎを持って返ってきた恵比寿神をお祭りしました。地方によって日にちは異なり、主に春は1月10日、1月20日、秋は主に10月20日や11月20日に行われました。金融不安が懸念される昨今、苦しい時の神頼み！恵比寿神に家運隆盛・金運アップをお願いしてみたいはかがですか。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 9月のセンター行事

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

○『米づくり・稲刈りをしよう』7日(日)

○『竹かご教室』第1回(日)

### 《米づくり・稲刈りをしよう》

参加者は23名。内訳は大人18名、子供5名でした。行事前日の天気予報は雨！田植え行事が小雨の中で行われたこともあり、今回もまた・・・という不安がよぎりました。が、降雨量の予測はわずか1分。

「中止して後悔するよりも、決行しよう」とういセンター長の判断で催行が決定されました。結果は大正解！もう少し曇っていた方が良かったのに・・・、と思うほどの上天気恵まれました。



刈り取ったイネはその場でおだ架け用に束ねられてゆきます

身支度を整えて芝生広場に集合した参加者は、鎌の使い方、刈り取ったイネをおだ架けするためにイネを束ねる「よりこみ結び」の結び方等の指導を受け、束ね用のワラー掴みとワラー束を腰に着けるための荒縄を受け取り、勇躍田んぼに向かいました。

4月から5月の天候不順で遅れ気味だったイネの生育は、7、8月の好天で遅れが回復し、田んぼは昨年に勝る実りを迎えていました。畦に勢ぞろいした参加者は、大人5株、子供2株の割り当てでいっ

センターピックアップ 10月

### ＜ヒガンバナで有害獣退散＞



センターの湿生生態園の周辺にヒガンバナの真っ赤な花は、そろそろ盛りを過ぎそうです。ヒガンバナは、文字通り彼岸の頃に花を咲かせることから、その名がつけられたと言われています。「曼珠沙華（まんじゅしゃげ）」とも呼ばれます。別名には「死人花」、「地獄花」など、ありがたくないものが多いようです。

ヒガンバナは縄文時代後期にイネとともに伝来したと言われます。ちなみに田んぼの畦にヒガンバナが多く見られるのは、野ネズミやモグラよけとなるからとか。ヒガンバナの球根（鱗茎）に含まれるリコリンなどの毒のためミミズがいなくなり、ミミズを主食とする野ネズミやモグラが近づかず、水もれの原因となる穴を開けられずにすむと言うわけ。イノシシやキョンの被害よけにも効果が期待できそうですね。

この鱗茎に含まれる毒は水溶性のため、救荒植物として凶作時や戦時に食用とされたとか。テレビ番組の食用実験をご覧になった方も多いのではないでしょうか。眺めて美しく、有害獣よけにもなるすぐれもののヒガンバナ、花を楽しめる時間は残りわずかです。

せいにイネ刈りを開始。手馴れた様子で刈り進める親子、おぼつかない手つきで苦戦する子、黙々と刈り取るお父さん…、皆汗を拭きふき夢中になって刈り進めた結果、予定時間を待たずに刈り取りは終了。

余った時間で明治、大正、昭和初期に使用されていた千歯こき[横木に固定した鉄歯でイネ束をこぐようにして脱穀する機械。江戸時代から明治、大正時代まで使用された]や唐箕(とうみ)[羽根車を回して風を起し、モミとゴミを選別する機械]など、昔の農機具体験が行われました。「ああこれ！懐かしい」という人や「面白そう、やってみたい」と目を輝かせる子どもらで、農機具体験は行列ができるほどの盛況ぶりでした。その後、各自思い思いの場所でセンター手作りのお味噌汁と持参のお弁当を広げて昼食をとり、その後自由解散となりました。



千歯こき(左)、足踏み脱穀機(右)に初挑戦

## 《竹かご教室》



今回初めて実施された竹の切り出し作業

広場にそれぞれのムシロを広げて作業場所とし、ひご作りに取り組みました。

竹かご作りで一番難しく、また一番大切な作業がひご作りです。手順は、まず竹切りノコで60 cmほどの長さに切り、汚れをたわしできれいに洗い流します。そのあとナタで二つ割りにします。それをさら1本が幅7mmになるよう割り揃えます。ここから竹の面と平行にナタの刃を入れて剥ぎ、厚さ2mmのひごを作るのです。講師の手元を見ていると、いとも簡単そうに見えますが、いざ自分で作業してみると、これが全くうまくいきません。「指先で厚みが測れるようになるまで、なんどもやってみることでですよ」という河野講師。残り4回の授業で習得できるように、皆黙々と作業を進めていました。

(大東 悠子)

「竹かご教室」は、センター行事の中でも人気の高い行事のひとつです。参加者は24名。そのうちリピーターが8名いました。これまでは、あらかじめ竹が用意され、参加者はその竹を使ってひごを作ることから作業を始めていました。が、今回から竹の切り出しから体験することとなり、センター長の挨拶後、全員で近くの竹林に向かいました。竹林到着後、講師の河野さんから伐採する竹の見分け方等の指導を受け、全員で竹を伐り出しました。その後センターにもどり、芝生



→いとも簡単にひごを作りだす講師の手元に、皆注目！

## 和泉-日在浦だより アカウミガメが順調に孵化(10月1日)



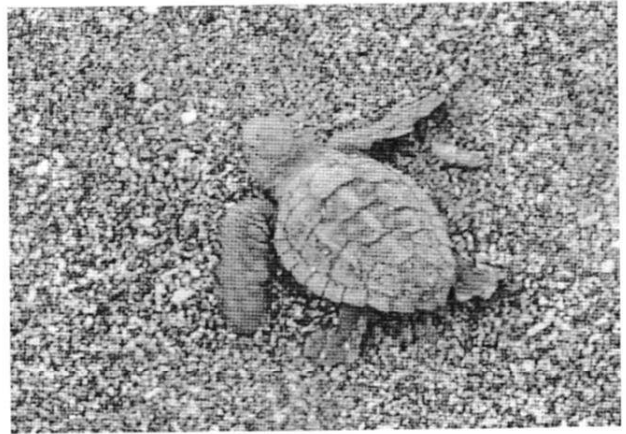
[秋の浜辺]

爽やかな秋空の下、和泉浦ではシロチドリの群舞が見られ、親鳥が南の越冬地に飛び去った夷隅川河口北岸ではコアジサシの未孵化卵がいくつか残されたままになっていました。

[子ガメの旅立ち]

市の水産班と共に子ガメ脱出跡を調べる(9/21) 「日在-和泉浦の海を育みウミガメを守る会」、 「カレッタいすみ」の会員

や、ウミガメ保護に熱心な市民が和気あいあいと第9回産卵巣(8/1産卵)より孵化脱出した多数の子ガメの足跡を確認していたところ、巣穴から子ガメが次々と5匹も這い出てくるのに遭遇しました。朝の強い陽射しを浴び懸命に海へと走る小さい子ガメの姿に一同感動しました。今年には台風の襲来がなく、例年のように産卵巣が流出被害に遭わなかったのは幸いです。



今年度いすみ市ではアカウミガメの大陸確認は17回、産卵は10回、孵化9ヶ所で、10月1日までに市水産班は筆者らと共に3回に分けて孵化調査を終えました。



太公望も集う夷隅川河口左岸海岸(9月23日)

[久しぶりに回復した砂浜]

アカウミガメが産卵する日在浦、和泉浦、夷隅川河口左岸海岸の全域にわたり、過去1年間にわたり砂浜が大幅に増えています。砂浜の奥まで砂の高さが十分保たれていたことが、真夏期間中高温が続いたことと共に、今年アカウミガメの産卵・孵化が順調だった理由といえます。

す。

[森谷 淵(もりや ふかし)]

## ◎今、いすみでは???

今日は9月28日、近頃は朝夕が大分涼しくなってきました。先日、稲刈りを終えたセンター周辺では、セミの声から**コオロギ**などの虫の声に代わり、**モズ**が縄張りを主張するため、キキキキ…と激しく鳴く「高鳴き」も聞かれるようになりました。水路沿いの**ヒガンバナ**も満開です。**アカトンボ**の仲間もたくさん飛んでいます。秋の到来です。

先月花をつけていた**タコノアシ**は、実をつけ紅葉し始めています。水路の水面に、茶色いトウモロコシの粒のようなものがたくさん浮いていました。何かと思い、周りを調べてみると、そこにはオクラのような実がはじけて、中からたくさんの種をこぼしている**キショウブ**がありました。雑木林の**クヌギ**、**コナラ**を観察してみると、まだ若くて青い**ドングリ**を枝につけていました。**クリ**の木はもう実を落としていました。秋は実りの季節でもあります。



キショウブの実



ヒヨドリバナとホタルガ

ハス園には、花を終え、蜂の巣のような実をつけた**ハス**の下に、**コナギ**が紫色の花をひっそりと咲かせていました。湿性生態園に向かう道路脇の斜面には、**ヒヨドリバナ**が小さくて白い花をたくさんつけています。そこには黒い羽に斜めの白いラインが入った**ホタルガ**が蜜を吸いに来ていました。湿性生態園には、**アキノウナギツカミ**、**シロバナサクラタデ**、**ユウガギク**が咲いています。万木沼には冬鳥の**カモ**が早くも少数飛来しているようです。9月から10月は、夏から秋への変化が観察できる楽しい季節です。

### いすみの気象情報 < 9月 >

平均気温：23.0℃、最高気温：31.1℃、最低気温：14.5℃、平均湿度：70.5%、雨量（積算）：89mm



ワ タ  
(アオイ科)

今月の

## 見い~つけた!

No.6

5月末にセンターの畑に播いたワタが実をつけました。オクラのような花をつけた後、丸い実をつけ、それがはじけるとワタがぶら~んと垂れ下がってきます。11月ぐらいまで、その様子が見られます。ところで、ワタが植物だってことご存知でしたか? 衣服には欠かせない素材で、かつては日本でも作られていましたが、今ではほぼ100%輸入に頼っています。また、現在世界で使われる農薬の約1/4がこのワタ栽培に使われているそうです。毎日当たり前に使う木綿のシャツ、タオル、軍手 etc. その裏側にこんな事実があったとは…。(堺 勇人)

## 10月の行事案内

- ★『竹かご教室』第二回  
日時 4日(土)9:30~16:00
- ★『竹かご教室』第三回  
日時 5日(日)9:30~16:00
- ★『竹かご教室』第四回  
日時 11日(土)9:30~16:00
- ★『竹かご教室』第五回  
日時 12日(日)9:30~16:00
- ★『芋掘りをしよう』定員40名  
日時 18日(土)9:30~13:00  
場所 ネイチャーセンター  
持ち物 軍手、長靴、移植ごて、お弁当

## <11月の行事予定>

- ★『わらでおきもの細工をつくろう』定員20名  
日時 9日(日)9:30~15:00  
場所 ネイチャーセンター  
持ち物 はさみ、座布団、お弁当



- ★『第12回さとの文化祭』  
日時 15日(土)~24日(月休)  
場所 ネイチャーセンター  
\*作品の応募・搬入等詳細はお問合せ下さい。

## 12月の行事予定

- 『つるでリースづくり』  
7日(日)9:30~16:00 定員20名  
雨天実施 参加対象:高校生以上
- 『もちつきをしよう』  
14日(日)9:30~14:00 定員40名  
雨天実施
- 『おかざりをつくろう』  
23日(火祝)午前の部 9:00~12:00  
午後の部 13:00~16:00  
雨天実施 各定員20名  
\*10月1日(水)より申し込み受け付け開始

## いすみ楊枝 —千葉県伝統工芸品—

- センターでは、「いすみ楊枝」を県内外に広く紹介するため、毎月高木守人氏に実演をお願いしています。
- 日時 10月19日(9:30~16:00)  
場所 ネイチャーセンター  
講師 高木 守人氏  
参加料 無料  
内容 楊枝・花入れ・茶杓作り  
\*次回は11月16日(日)です。

行事への参加申し込み、お問い合わせは、電話(0470-86-5251)、ファックス(0470-86-5252)、または、直接センター事務室にお申し出下さい。定員のあるものについては、定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承下さい。

\* eメール可(メールアドレス: [info@isumi-sato.com](mailto:info@isumi-sato.com) (@は全角です)

\* 行事申し込み後、都合によりキャンセルする場合は必ず早めにセンターまでご連絡下さい。

\*「さとのかぜ」の定期購読を希望される方は、郵便代として、80円切手12枚、または960円にて受付ます。

## ◆ ◆ ◆ 利用案内 ◆ ◆ ◆

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、12月29日~翌年1月3日

開館時間: 9:00~16:30、入館料: 無料

なお、団体で案内や解説などを希望される場合は、2週間前までにお申し込み下さい。